



www.jomaca.join-us.jp開始当時の真剣さを象徴する、山田 学の**決意**の肉声（歌声）の記念録音を、あえて再公開させていただきます。やはりこれが山田流の礼儀なのであると、考え直しました。

2005年11月8日小さな部屋にて録音、www.jomaca.join-us.jp開始時に公開したが、さまざまな批判もあり、06年1月16日に公開中止。

素人。雑音入り録音。緊張でかすれた声。さまざまな批判とは…、最初の「明るくなるよね」の音が暗い、地の底から響くようなぶきみさがある、オウムじゃないか、しかし、ふしぎな魅力はある、曲もいい、などなど。まあ、儒教風やキリスト教風の明るさではなく、日本の演歌調であることは確かでしょう。山田がまだ泣き型人間を克服できていない時点のウソ笑い、という面もあったでしょう。批判の中にありましたが、オウムに対する山田 学の考えは以下です。そして山田は思想的にも組織的にもオウム真理教とまったく無関係です。

あのオウム真理教は、健康と平和のためにこそあるヨガ（原始的な修業）を正しく理解せず、ヨガのイメージを、現代科学的な暴動により、深く傷つけたという、大罪をおかしました。（『はじまる。』第三章「健康と資本主義」より）

わたしたちは、全共闘やオウムに象徴される、無責任なアナーキズム（無政府主義）や暴動発想は、まだ、戦争社会の情念にとらわれているという意味において、否定します。また、「人類の終末」とか言った、絶望のイメージを広告することじたい、戦争準備産業です。平和準備産業ではありません。（『はじまる。』第六章「希望」未公開原稿より）

祈りのファンファーレ“akarukunaruyone”には真剣な思い出があります。

1995年11月初めに、戦前の政治思想家にまつわる底深い絶望感を味わいました。理論的には近代科学精神（社会進化論など）を真剣に追いかけてながら、実は思想的に正反対と言える青年将校と実践的に交流し、2.26.事件ゆえに処刑された北一輝。自分は北一輝の理論に賛成できないものの、もっともっと日本社会において平和な転換の道はありえないのか……。……。そうだ、日本人は伝統的に歌う呼吸が好き（“言霊思想”の正体）だから、今の自分の絶望感をあえて**全否定**する希望の呼吸を産みだそう……。暗さのどん底なのに、暗さのどん底だから、明るくなるよね……。

横浜駅ビルのある喫茶店にてこのように思考して、作詩。次の朝めざめたときに、曲ができました。2.26.事件の再現を**断固**、阻止する、芸術素人・山田なりの文化・まごころ・礼儀・公表です。あのオウム騒ぎの年の終りに、実は正反対の山田 学に強烈なオウム猜疑もかけられ、悩み孤立（まあ、only one）の底から。

“akarukunaruyone”

詩・曲・歌／山田 学（45秒エンドレス）
2005年11月8日録音

明るくなるよね 明るくなるさ
仲良くなるよね 仲良くなるさ
賢くなるよね 賢くなるさ

エレガントに やさしく
エレガントに やさしく
エレガントに やさしく

次の社会を

なお、歌声再生画面からは、〈健康平和三重円〉（旗PDF）へ、〈やすらげ。地球人。／WANTED なまやまだノイマジン訳〉（標語などPDF）へ、〈www.jomaca.join-us.jp有益さ主張〉（チラシPDF）へも飛べます。お好みでお使いください。〈健康平和三重円〉という旗は、ヒットラーの旗「赤地・白円・黒かぎ十字」に対抗したいと想い、白地に理性の象徴の青と動物の血の赤と植物の緑をまとめました。アリストテレス、ヘーゲル、ヨガの沖 正弘に共通する思想でしょうか。1994年山田 学著『学問の転換』の表紙に用いました。